資料2

第３期 静岡市教育振興基本計画

～たくましくしなやかな子どもたちを育てるために～

計画の策定に際し勘案した事項

時代の潮流、我が国を取り巻く社会経済情勢 ※主なもの

①SDGsの推進

地球規模の人類共通の課題に対応するため、「持続可能な開発目標（SDGs）」の教育分野において、「すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことが求められています。

②Society5.0時代の到来

2030年頃には、IoTやビッグデータ、AI等をはじめとする技術革新が一層進展し、社会や生活を大きく変えていく超スマート社会の到来が予想されています。

③自然災害、感染症等のリスクの増加

自然災害の激甚化・頻繁化や感染症、国際情勢の変化など、想定外の事態が発生するリスクが増加しています。

④人口減少、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少

本市の人口は1990年から減少を続けており、2020年の国勢調査では70万人を下回りました。移住促進など、人口の社会増のための取組を進めているものの、今後も更なる人口減少・少子高齢化は避けられないと見込まれます。

⑤国の教育制度改革の動き

令和の日本型教育の推進や新学習指導要領の全面実施、GIGAスクール構想の推進、こども家庭庁の創設、高等学校教育の実現に向けた制度改革など、国においても時代に即した教育制度の改革を進めています。

第２期計画の振り返り（主な取組）

①静岡型小中一貫教育の実施

小中一貫教育準備委員会の開催、小中一貫教育スポットグループによる実践研究等を経て、各グループが学校経営方針及び教育課程を編成しました。なお、令和４年度より小中一貫教育を全市にて一斉実施しています。

②ICT教育の推進

通信ネットワークを整備するとともに情報端末約49,000台（小学生、中学生及び教員用）を配備しました。また、ICT支援員を配置したほか、ヘルプデスク機能を有するGIGAスクール運営支援センターを開設しました。

③不登校対策の推進

教員の不登校対応力向上のための不登校対応研修プログラムの実施のほか、中学校に加え、小学校へのサポートルームの新設と教育相談員の配置、訪問教育相談員の活用など、不登校の子どもたちへの支援の充実に取り組んできました。

④学校における空調設備設置、トイレ洋式化

市内小中学校の全ての普通教室への空調設備設置が完了しました。また、小中学校校舎のトイレの洋式化については、国の追加認証を活用し工事等の着手を前倒しすることで、事業の進捗を加速させることができました。

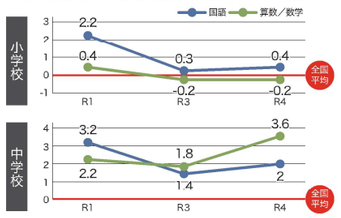
⑤地域学校協働活動の推進

「学校・家庭・地域 総がかりの教育」の実現を目指し、保護者、地域住民等による学校支援活動（授業支援、環境整備、登下校の見守り等）を全小中学校で実施しています。加えて、放課後子ども教室を拡充し、地域住民等の協力を得て、子どもが安全安心に充実して過ごすことができる体験・交流の場の整備に取り組みました。

本市教育の現状と課題 ※主なもの

授業改善による学力向上

学力調査結果の推移（全国平均正答率との差分）

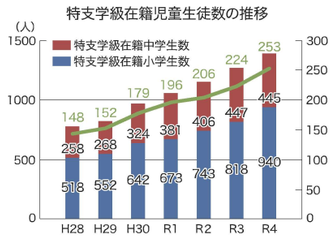


本市の児童生徒の学力は、学力向上施策や授業改善等により良好な状態にある一方で、子どもの身に付けた資質・能力の活用に関する授業づくりなどに依然として課題があります。

引き続き学校におけるＰＤＣＡサイクルを活用し、学力向上のための授業改善の取組を推進する必要があります。

支援が必要な子どもへの対応

特支学級在籍児童生徒数の推移

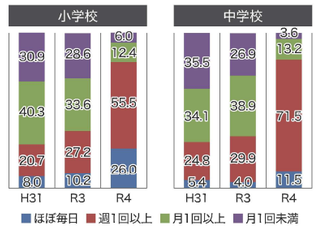


特別支援学級に在籍する児童生徒や医療的ケア等特別な支援を必要とする児童生徒は年々増加しており、さらにこれらの子どもの状況が多様化しています。

このため、個々のニーズに対応した支援・効果的な施策の実施など、誰一人取り残さない持続可能な支援が必要です。

ICTを活用した学習支援体制の充実

ICT機器の使用頻度



全小中学校において一人一台端末を整備し、個別最適な学び及び協働的な学びの実現に向けた体制を整えてきました。一方で、学校間や教員間でのICT活用スキルに差が生じていることから、今後も継続して学習支援体制の充実に取り組んでいく必要があります。

第３期静岡市教育振興基本計画の策定

これまでの基本理念を継承しつつ、時代の潮流や我が国を取り巻く社会経済情勢などを踏まえ、本市教育のビジョンと教育振興のための具体的な施策を総合的かつ体系的に示す「第3期静岡市教育振興基本計画」を策定しました。

本計画が目指すもの ～たくましく しなやかな子どもたち～

デジタル技術の高度化によるSociety5.0時代や少子高齢化による人口減少社会の到来、交通網や情報技術の飛躍的な発展によるグローバル化のさらなる進展など、我が国は今、複雑で変化の激しい「予測困難な時代」を迎えています。

このような中でも、常に夢と希望を持ち、自らの豊かな未来を切り拓く、次代を担う『たくましく しなやかな子どもたち』こそ、本市が目指す子どもたちの姿です。

たくましくしなやかな子どもたちの具体的な姿の例

❶知識・技能のほか、柔軟に対応できる総合的な学力、豊かな心・感性、健やかな体を備えた子どもたち
❷いつでも、どこでも、どんな状況でも、自ら考え、主体的に行動することができる子どもたち
❸困難なことがあっても、チャレンジ精神を持ち、粘り強く立ち向かう力を発揮する子どもたち
❹自分の良さや可能性を認識しつつ、夢や希望に向かって努力し、豊かな未来を切り拓いていく子どもたち
❺多様な視点で物事を捉え、他人の考えを尊重し、協力し合いながら問題解決ができる子どもたち
❻静岡市民として、地域社会や世界で活躍するグローカルな視野・視点を持った子どもたち

計画期間

令和5（2023）年度から令和12（2030）年度までの8年間を計画期間とします。

計画の対象

こども園、幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校を中心として、子どもたちを取り巻く家庭、地域社会、これらを支える行政を含めた教育に関わる取組を対象とします。

編集
静岡市教育委員会事務局 教育局 教育総務課 TEL.054-354-2505 FAX.054-354-2472
〒424-8701 静岡市清水区旭町６番８号 ホームページ https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000548.html

本市教育施策の基本的な方向性

「たくましく しなやかな子どもたち」を育てるために、4つの基本的な方向性のもと、19の施策を展開します。

方向性1 【子どもの知・徳・体の育成】

急激な社会変化にも対応しながら、自らの豊かな未来を切り拓くことのできる力を持った子どもたちを育てる

指標
※R8時点での目標値、()は全国平均

1 国語、算数、数学の全国平均正答率と比較し、小学校「＋1％」、中学校「＋3％」
・・・R4／小・国66%(65.6%)、小・算63%(63.2%)
・・・R4／中・国71%(69%)、中・数55%(51.4%)

2 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合が全国平均と比較し「＋1％」
・・・R4／小78.4%(79.8%)、中65.1%(67.3%)

施策

①総合的な学力の向上
②豊かな心・感性の育成
③健やかな体づくり
④静岡市民を育てる教育（ｼﾃｨｽﾞﾝｼｯﾌﾟ教育）
⑤国内外でグローカルに活躍できる人材の育成
⑥特色ある小中高等学校教育の推進
⑦教育DXの推進

主な取組

●学力向上支援策の推進
●地域・企業等と連携したキャリア教育の推進
●人権教育や生命を大切にする教育の推進
●食育の推進 ●しずおか学の推進
●英語を活用したコミュニケーション力の向上
●静岡型小中一貫教育の推進
●特色ある高等学校教育の推進 ●学校教育におけるICTの活用

方向性2 【一人ひとりの幸福の実現と多様性の尊重】

誰もが幸せを感じながら生き生きと輝く、多様性を尊重した教育を推進する

指標
※R8時点での目標値、()は全国平均

1 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合が全国平均と比較し「＋1％」
・・・R4／小80.4%(79.3%)、中77.2%(78.5%)

2 学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合が全国平均と比較し「＋1％」
・・・R4／小84.7%(85.4%)、中81.3%(82.9%)

施策

⑧特別支援教育の推進
⑨個々のニーズに対応した教育の推進
⑩教育機会の均等の確保

主な取組

●特別支援教育の推進 ●悩みを抱える児童生徒に対する支援の充実
●外国人児童生徒支援 ●就学援助、奨学金の貸与・給付
●教育格差を生まないための支援の推進

方向性3 【教育環境の整備・充実】

安全安心で魅力ある教育環境の整備と、信頼される学校づくりを進める

指標

1 「子どもと向き合う時間」や「指導準備時間」が十分確保できていると感じている教員の割合
・・・R3／38%、R8目標値：70%

2 小中学校校舎におけるトイレ長寿命化率
※()は洋式化率
・・・R4／45.3%(64%)、R8目標値：59.8%(72%)

施策

⑪安全安心の確保
⑫市アセットマネジメント基本方針に則った教育施設の整備
⑬ICT環境の整備・充実
⑭質の高い教職員の確保
⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進
⑯地域と協働した学校の運営
⑰学校の適正規模化

主な取組

●健康面での安全安心の確保 ●防災教育の推進
●小中高等学校施設の整備
●教職の魅力発信による質の高い教職員の確保
●しずおか教師塾の運営
●静岡型教職員多忙解消プログラムの推進
●教職員の資質の向上 ●静岡市型35人学級編制の推進
●小中学校適正規模・適正配置の推進

方向性4 【協働してつくる持続可能な学びの推進】

地域全体で学び合い協働する環境づくりを推進する

指標

1 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動（学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事等）を行ったと答えた学校の割合
・・・R4／66.4:%、R8目標値：100%

施策

⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援
⑲人生100年時代を支える豊かな学びの充実

主な取組

●コミュニティ・スクールの導入・地域学校協働活動の推進
●部活動改革の推進 ●図書館サービスの推進
●高齢者学級、家庭教育学級、女性学級の開催
●歴史・文化の振興・発信 ●スポーツ活動の推進

計画期間内に重点的に取り組む事項

よりよい教育を提供するため、計画期間内において特に重点的に取り組む事項は次のとおりです。

方向性1 【子どもの知・徳・体の育成】

急激な社会変化にも対応しながら、自らの豊かな未来を切り拓くことのできる力を持った子どもたちを育てる

総合的な学力の向上

組織的な授業改善のほか、基礎的な学力に課題を持つ児童へ支援を行うことにより、本市全体としての学力の底上げを目指します。また、地域や企業と連携し、キャリア教育の視点に立った学びを充実させていきます。

国内外でグローカルに活躍できる人材の育成

授業や課外活動等において、児童生徒が英語や異国の文化に触れる機会を拡充するとともに、様々な人との協働により、世界規模の視野と地域の視点を身に付け、静岡の未来を創造し、けん引することのできるグローカル人材を育成します。

静岡型小中一貫教育の推進

各小中一貫教育グループが「目指す子どもの姿」を地域・保護者と共有し、小中9年間の「たて」と、学校と地域の「よこ」の「つながる力」を育むとともに、地域ならではの特色ある教育活動により、地域社会や世界で活躍する子どもを育成します。

教育DXの推進

ICTの効果的な活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組みます。また、責任をもってデジタル技術を扱う行動規範等を学ぶデジタル・シティズンシップ教育を推進します。

特色ある高等学校教育の推進（高等学校の魅力化）

進学や就職に向けた生徒のニーズに対応し、それぞれの個性や能力を伸長させる魅力ある高等学校教育を推進します。

方向性2 【一人ひとりの幸福の実現と多様性の尊重】

誰もが幸せを感じながら生き生きと輝く、多様性を尊重した教育を推進する

特別支援教育の推進

多様化する教育的ニーズに対応するため、専門人材の配置や教職員の専門性向上による授業改善に取り組むとともに、状況を的確に把握し、その都度必要な教育的支援を提供できるよう、組織的な相談・支援体制を強化します。

個々のニーズに対応した教育の推進

生活指導体制や相談体制の一層の充実を図るとともに、地域や関係機関と連携しながら、不安や悩みを抱える子どもや保護者に寄り添ったきめ細かな支援を行います。

方向性3 【教育環境の整備・充実】

安全安心で魅力ある教育環境の整備と、信頼される学校づくりを進める

安全安心で魅力ある教育環境の整備

施設の老朽化が進む中、長寿命化や建替えなどによる老朽化対策を計画的に実施するとともに、バリアフリー化や脱炭素化、防災機能の強化など、新しい時代の学びを支える安全安心で快適な教育環境の整備に努めます。

教職員の資質向上と働き方改革の推進

研修の一層の充実により、「学び続ける教職員」を育成するとともに、教職員の長時間労働を是正し、子どもと向き合う時間や見聞を広げる時間を創出することで、教育の質を高めます。

方向性4 【協働してつくる持続可能な学びの推進】

地域全体で学び合い協働する環境づくりを推進する

学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援

学校を核とした地域全体で子どもたちを育てるため、地域住民などが主体的に学校運営に参画するコミュニティ・スクールの各中学校区への導入を促進するとともに、市内の各小中学校において地域学校協働活動を推進します。

部活動改革の推進

子どもたちにとって価値ある活動を維持するため、まずは休日の部活動に代わり、地域で展開する新たな活動を実施します。